

地域づくりインターン活動紹介



地域づくりインターン 5期生 平林洸

・入山辺地区では、松本大学地域総合研究センター特別調査研究員が松本市地域づくりインターン生として現在活動しています。今回は地域の中で地域づくりに関する調査や実践活動の様子についてご紹介します！

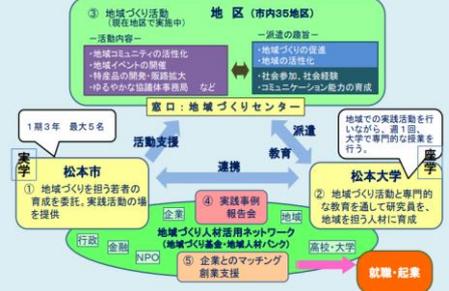
：地域づくりインターンとは？

平成27年度から、若者が地域づくり活動に参加することで地域活動が活性化することと、若者が地域での活動を通して成長することを支援していく事業として、松本市と松本大学とが協働して実施しています。

- 1、若者が地域課題の解決や地域の活性化など地域づくりに係る活動に従事し、地域づくりの推進を図りながら、自らの能力の向上を図ります。
- 2、大学は、福祉、環境、生涯学習、観光、農業等の地域づくり・人材育成につながる専門教育を行なうとともに、若者の就職、起業のための支援を行ないます。
- 3、松本大学地域総合研究センター研究員として活動、期間は最長3年間
- 4、令和3年度は入山辺地区で1名が活動しています。

地域づくりインターンシップの流れ

～若者の就労を支援し、地域で活躍できる人材を育てる～



：活動内容

1. 住民主体の地域づくり活動団体「こんな山辺にするじゃん会」の活動調査

・入山辺地区で地域づくり活動に取り組む入山辺地区の将来ビジョンを考える会、愛称「こんな山辺にするじゃん会」の活動に参加しながら、どうすれば地域住民が楽しく地域づくり活動に参加することができるか調査をしています！

「こんな山辺にするじゃん会」農産物販売グループ活動の様子



「こんな山辺にするじゃん会」定例会参加の様子



2. 中心市街地と中山間地域の連携した地域づくり活動について



「上土ふれあい新鮮市」の様子

・入山辺地区が中央地区上土町と連携して実施している「上土ふれあい新鮮市」に参加し、中心市街地と中山間地域のそれぞれ抱えている地域課題を、互いの地域資源を活用することで相互に解決することができないか調査をしています！

3. 中山間地域の地域づくり活動に若者が参加するきっかけ作りについて

・若者、特に移住者や大学生が特産品のブドウ栽培や有害鳥獣駆除を通じて中山間地域の地域づくり活動に取り組むきっかけについて、私自身も入山辺地区に移住して実際に地区で暮らしながら調査をしています！

「地域特産品のブドウ栽培を活用した学生の地域づくり活動参加の様子」



「有害鳥獣駆除について学生に説明する様子」

